



真剣に解説を聞き

メモを取っていました

令和6年6月21日(金)、長野県林業大学校生が、厚岸町と標茶町に広がる「パイロットフォレスト」を見学しました。

これは同大学校が、北海道の森林・林業を学習する一環として、訪れたもので、根釧西部森林管理署と当センターが支援しました。

まず始めに、研修棟でパイロットフォレスト造成時の様子を記録したDVDを視聴した後、根釧西部署長がパイロットフォレストの造成経過を解説しました。その後、機械展示棟で、当時使用していた機械を



▽機械展示棟を見学する様子

見学しました。

次に、望楼へ移動しました。展望室がある約24mの高さから、カラマツ林を眺望しました。学生からは「人の手でこの広さの森林が作られたのはすごいですね」との感想がありました。施業の説明を受けている際には、真剣な眼差しで森林管理署長の解説を聞いていました。

この見学で学生の皆さんは、パイロットフォレストの歴史や風景に感動している様子が見られました。また、真剣に解説を聞くとともにメモを取り、積極的に質問をする等、熱心に学ぶ姿が印象的でした。



▽施業の説明を聞く様子

広葉樹の森林づくりを行いました

令和6年6月25日(火)、標茶町の雷別国有林で、今年度1回目の「雷別ドングリ倶楽部」を開催し、広葉樹の森林づくりを行いました。

これは高齢級のトドマツ人工林が立枯れし、笹地となった雷別国有林293林班で、平成19年7月から「雷別ドングリ倶楽部」の会員の方々と協働で、森林再生に取り組んでいるものです。

当日は18名が参加し、ミズナラ・ヤチダモ・カツラ・キハダを約70本植栽するとともに、野生生物から植栽木を保護する保護管(ツリーシールド)で被覆しました。



▽植樹の様子



▽保護管を被覆する様子

植栽箇所では、当センター職員から、植樹の仕方や保護管の組立て・設置の説明があり、会員の皆さんは青空が広がる天候のもと活動し、準備した苗木は午前中に植え終わりました。昼食後は、植栽した広葉樹に保護管を被覆し、予定していた日程を無事、終了しました。

会員の方からは、「森林や木の話聞いて良かった。今日植えた木の名前も覚えることができた」や「苗木が無事育ってほしい。また、参加したい」等の声が寄せられました。今回の「雷別ドングリ倶楽部」の活動では、心地よい汗をかきながら、森林再生に取り組んでいました。



▽保護管組立ての様子

地域の皆様と広葉樹の森林づくり

令和6年6月29日（土）、「雷別へ植樹に行こうYo！」を開催しました。

当センターでは、ボランティア団体や企業の社会貢献活動等と協働して、森林再生に取り組んでおり、今回は地域の皆様の参加を得て、広葉樹の森林づくりを行いました。

当日は、午前中に植樹と保護管の組立て・被覆、午後からはパイロットフォレストを眺望するため望楼（高さ約24m）へ移動しました。始めに、当センター職員から、作業に当たっての注意事項や植付方



▽望楼と参加者

法を説明した後、植栽箇所へ移動しました。植栽箇所は、笹の根が張っている箇所が多く、参加者は植穴を耕すのに苦労されていました。ミズナラ・ヤチダモ・キハダ・カツラ約30本を植栽しました。

次に、保護管（ツリーシェルター）の組立てと被覆を行い、植栽木はエゾシカやエゾユキウサギ等の野生動物の食害から、守られることとなりました。

パイロットフォレストは、別寒辺牛川の中流に位置しカラマツを主体とする森林で、参加者の皆様は、造成過程や当時の様子等の説明を受けながら最上階を目指しました。

参加者からは「来年も参加したい」という声もあり、天候にも恵まれ、地域の皆様と広葉樹の森林づくりができた、有意義な活動となりました。



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

国民の森林・国有林

当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。

